

■米国：ヒューレットパッカー社が 100%再エネを公約

2016年3月31日付の報道によると、コンピュータ関連企業であるヒューレットパッカー社（HP）社は、将来的に自社の電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを宣言した。同社は、大企業が自社の電力を100%再エネから調達することを目指す世界的イニシアティブであるRE100（ゴールドマン・サックス、ジョンソン・エンド・ジョンソン、ナイキなど知名度の高い米国企業や、スウェーデンのイケア・グループ、保険会社スイス再保険を含む国際企業が参加）に加入している。HP社は、100%再エネを達成するための重要なステップとして、2020年までに再エネ調達量40%の目標を掲げている。また、戦略の柱として、(1)省エネプロジェクトの導入、事業の効率化によるエネルギー消費量の積極的な削減、(2)施設内での再エネ電源の拡大、(3)再エネ証書（REC）の購入や長期購入契約（PPA）など、他者からの再エネ電力購入量の増加を掲げている。